

県職員等採用説明会

(教育委員会関係)



岡山県教育庁教育政策課 安藤 秀明

目次

- 1 岡山県教育委員会の取組とは？
- 2 岡山県教育委員会の組織とは？
- 3 事務職員の業務紹介（学校事務）
- 4 人事異動について
- 5 若手職員が輝き、成長できる県教委！
- 6 「災害時学校支援チームおかやま」の取組について
- 7 服務・勤務条件等について
- 8 皆さんに期待すること

①岡山県教育委員会の取組とは？

- 県政の最上位計画「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」において、「教育県岡山の復活」に関する施策は、3つの重点戦略の1つとして位置付けられている。
- 地元紙にも県教委に関する話題が頻繁に（2 or 3 日に1回）取り上げられるなど、県民の関心も非常に高い。

生き生きプラン

県教委の取組が地元紙に取り上げられた回数



① 学ぶ力育成プログラム				
現状・変化				
平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果によると、中学校の国語・数学が全国平均と同等になるなど、一定の成果が現れています。一方で、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が伸び悩み、中学校の家庭学習時間は全国平均と比べて短い状況にあります。今後、年少人口の減少により、学校の小規模化が進むおそれがあります。また、技術革新の進展により、将来、AI等による職業代替可能性が高まり、創造性や協調性が必要な業務や非定型な業務が仕事の中心になることが想定されます。				
課題				
子どもたちが主体的に学び、社会課題の解決につながる新たな価値や行動を生み出すことができるよう、夢や目標の実現に向け学ぶ意欲を高め、自己実現を図るために必要となる学力を確実に育成する必要があります。				
施策の方向性				
キャリア教育の充実を推進するとともに、学校経営の支援、一人ひとりの学習状況の的確な把握、授業改善の一層の推進、補充学習指導の充実、家庭学習指導の徹底等により、子どもたちの学ぶ力を育み、学力の確実な定着を図ります。				
生き生き指標				
○将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小学校6年生 中学校3年生	65.9% 44.1%	>>>> >>>>	70.0% 50.0%
○全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差	小学校6年生 中学校3年生	▲1ポイント ±0ポイント	>>>> >>>>	+1ポイント +1ポイント
○インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合		95.3%	>>>>	100.0%
○授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合	小学校6年生 中学校3年生	72.1% 64.6%	>>>> >>>>	73.0% 70.0%
○「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合	小学校6年生 中学校3年生	82.9% 73.9%	>>>> >>>>	85.0% 76.0%

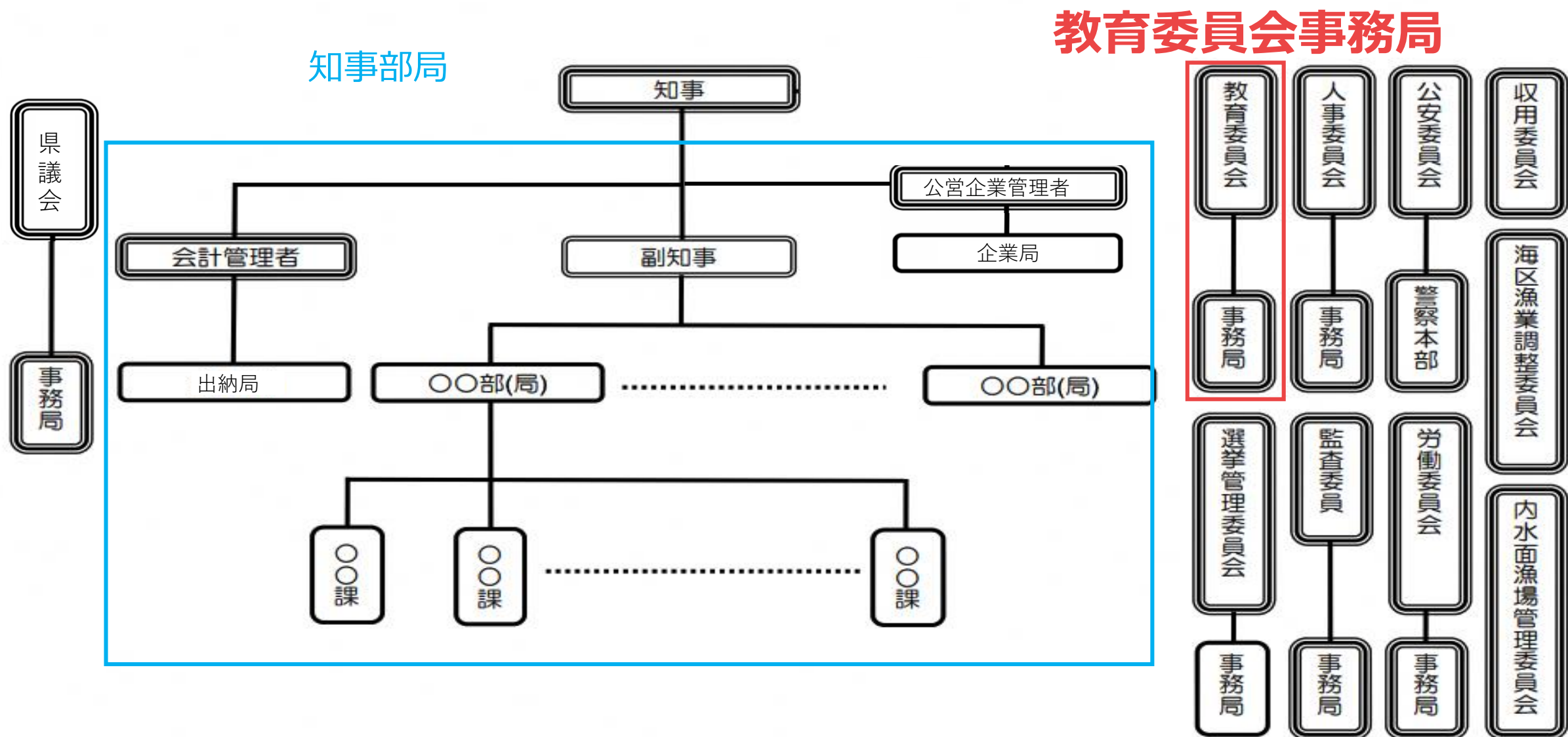


約 **190** 回 (R5.4.1～R6.4.24)

※担当者調べ

**2 or 3 日に1回
は県教委の話題**

②岡山県教育委員会の組織とは？



②岡山県教育委員会の組織とは？



②岡山県教育委員会の組織とは？

課（室）名	主な担当業務内容
教育政策課	事務職員人事、秘書、公聴広報、施策の企画、調査統計
財務課	予算編成執行、教職員給与、学校施設整備
教職員課	教員免許、教職員人事、教員採用試験
高校教育課	高校教育の指導、学力向上、グローバル人材育成
高校魅力化推進室	高校魅力化、高校教育体制整備、高校入学者選抜
教育情報化推進室	G I G Aスクール構想、I C T環境整備
義務教育課	幼稚園・小中学校教育の指導、学力向上対策
特別支援教育課	特別支援学校教育体制整備、就学指導
保健体育課	学校保健・学校体育の指導、学校給食
生涯学習課	生涯学習、社会教育、高校奨学金、学校文化活動
文化財課	文化財の指定・保存・活用、埋蔵文化財の調査・保護
福利課	教職員の福利厚生・健康管理・年金
人権教育・生徒指導課	人権教育指導、生徒指導、いじめ・不登校対策

②岡山県教育委員会の組織とは？

所属名	主な担当業務内容
岡山教育事務所	管内の小・中学校、町村教委への指導・助言
津山教育事務所	管内の小・中学校、町村教委への指導・助言
総合教育センター	教員研修、各教科等の調査研究、教育相談
生涯学習センター	学習情報提供、学習講座開設、指導者養成・研修
県立図書館	図書館の運営
県立博物館	資料の収集展示
古代吉備文化財センター	埋蔵文化財の調査・研究、出土品の整理・保存・活用

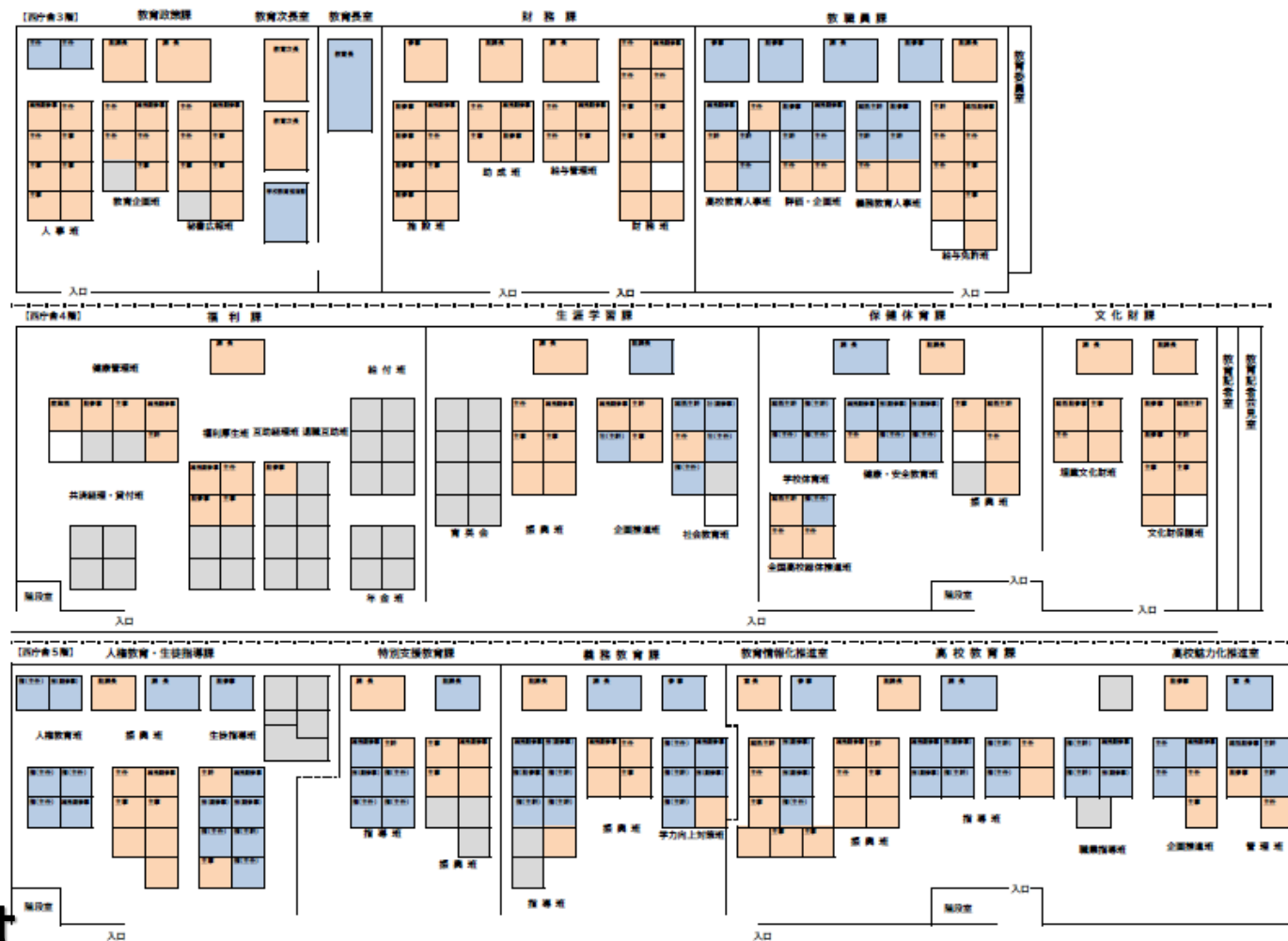
※渋川青年の家、青少年教育センター関谷学校は指定管理による運営

県立学校

中学校 3 校、高等学校 5 1 校、中等教育学校 1 校、特別支援学校 1 4 校

②岡山県教育委員会の組織とは？

本庁各課室の人員構成（配席表から）



行政職（技術職を含む。）

教員出身者（指導主事等）



Point



県教委では、教員出身者と一緒に勤務する所属もある

③事務職員の業務紹介（学校事務）

- 学校環境整備
- 施設維持管理（工事等）
- 学校予算の管理・執行
（収入・支出）
- 授業料・就学支援金
- 物品管理
- 文書管理
- 諸証明
（卒業証明・成績証明等）
- 給与・旅費支給
- 窓口対応 など

Point

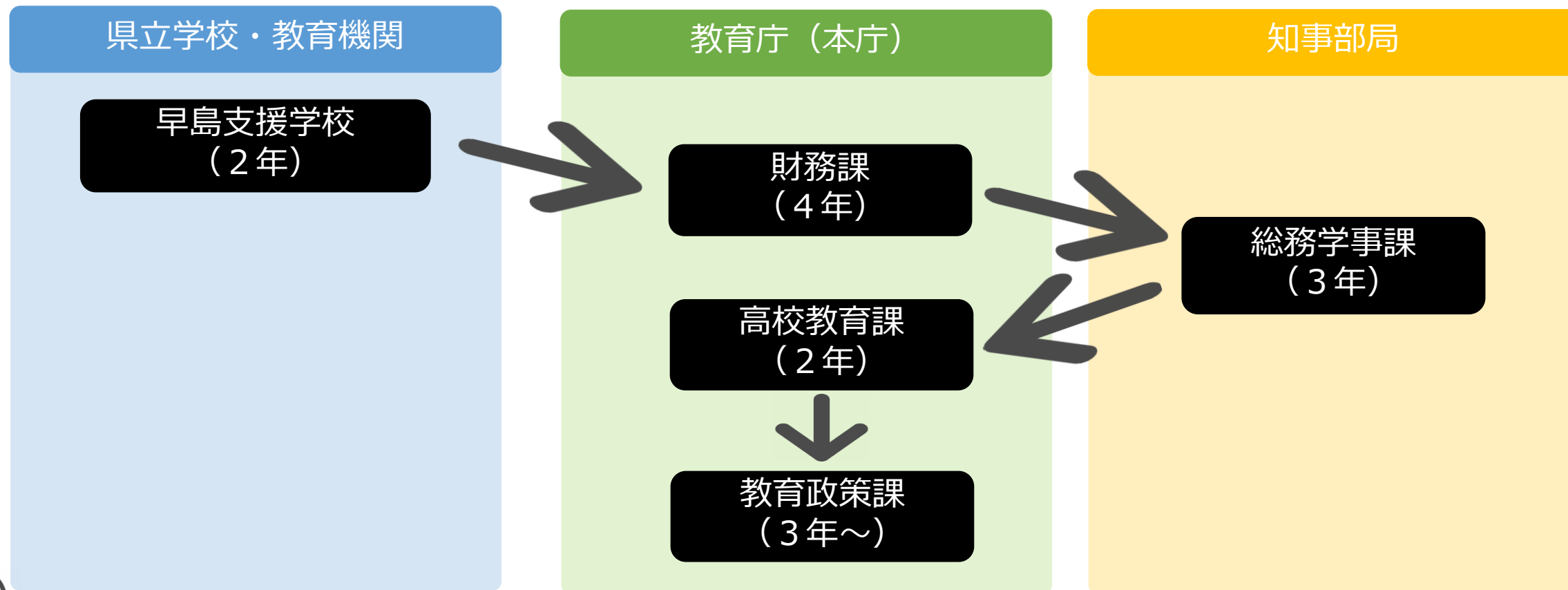
- ◇ 学校規模に応じ、概ね4人～6人で勤務
- ◇ 総務・財務のスペシャリストとして学校経営に参画



詳細はYouTube「岡山県職員の魅力発信！！行政・事務職編（大安寺中等教育学校）」を参照

④ 人事異動について

《例》 ある職員（行政・入庁14年目）のケース



Point

- ◇ 概ね2～3年で異動（県立学校、教育庁、知事部局等）
- ◇ 毎年度、所属で異動前に人事に関する希望調査（ヒアリング）あり

⑤若手職員が輝き、成長できる県教委！

- 入庁10年目未満の若手職員が集まり、**庁内の職場環境改善（レイアウトの見直し、行政用語集等の策定）**について所属長に提案するなどの取組



Point



若手職員も、積極的に業務へ参画し、意見を発信できる！

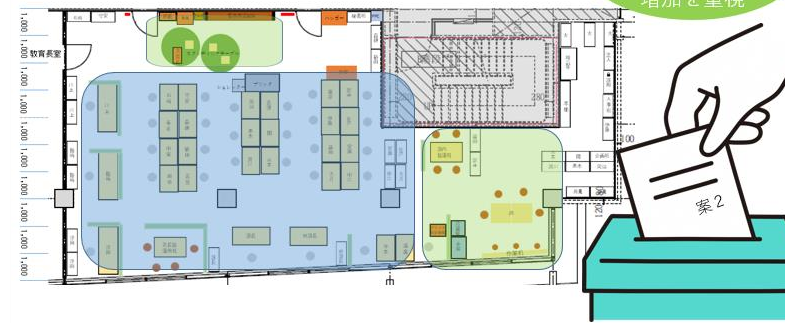
より良い教育庁を目指して
～職場環境改善チームからの提言～



チームリーダー：中江総括副参事（人事班）
サポートリーダー：守安主任（秘書広報班）・安藤主任（人事班）
検討メンバー：新井主事・益田主事（人事班）
黒木主事・岡辺主事（教育企画班）
春名主事・中尾主事（秘書広報班）

（案2）人とスペース分離案

課員の
コミュニケー
ション
増加を重視



⑥被災地の子どもたち・教職員のために 「災害時学校支援チームおかやま」の取組

- 県教委では、平成30年7月豪雨災害の教訓を生かし、令和4年3月に「災害時学校支援チームおかやま」を発足
- 令和6年1月の能登半島地震により被害を受けた石川県への支援のため、チーム員（行政職員・教員等）を被災地に派遣



大規模災害等への対応は、職員一丸となりチームで対応している

⑦ 服務・勤務条件等について

給料・手当

基本的には
**知事部局と
同じ**

教職員住宅

20箇所程度

子育て支援に係る主な休暇制度

- 産前産後休暇
- 家族休暇（出産補助）
- 育児休業
- 育児時間
- 育児短時間勤務
- 部分休業・子育て支援時間
- 早出遅出勤務・休憩時間短縮
- 家族休暇（子の看護等）

男性職員の育児休業取得率

54.5%
(R4年度)

年時休暇平均取得日数

11.7日
(R4年度)
※教員を含む。

月当たり平均時間外勤務

9.8時間
(R4年度)
※管理職を除く。

⑧皆さんに期待すること



- ◆ **チャレンジ精神**…熱意、創意工夫、日々業務改善
- ◆ **コスト感覚**…最小の経費で最大の効果
- ◆ **スピード感覚**…時間管理、優先度 → 課題解決
- ◆ **サービス感覚**…誠意、県民(児童生徒・保護者等)の視点
- ◆ **コミュニケーション力**…仕事はチームですもの



**一緒に働けることを
楽しみにしています！**

